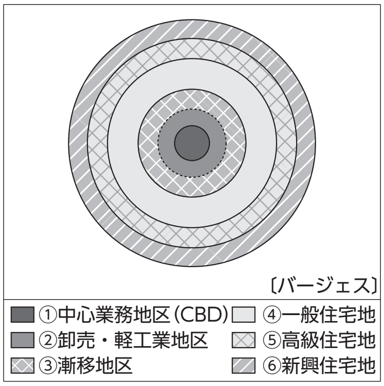
第 12 講 【系統地理編】村落・都市，都市・居住問題
PART 3 都市と都市圏

Chapter 1 都市の内部構造

目標
同心円モデルで，人口増加率が高い地域はどこか考えてみよう。
都市の内部構造に影響を与える要素を挙げてみよう。

1 同心円モデル

・〔　　　　　　〕：ある都市が影響を及ぼす範囲。
→都市圏内では，さまざまな**機能**ごとに地域が分化する。
→アメリカ合衆国の社会学者**バージェス**が発表した**同心円モデル**が原点となり，研究が進んだ。
→都市圏内では，**中心**（**都心**）に向かうほど地価が**高く**なり，**周辺**（**郊外**）に向かうほど**安く**なる傾向がある。



<都市圏（同心円モデル）の内部構造>

●〔　　　　　　〕：昼間人口＞夜間人口となる地域	
① **中心業務地区**（〔　　　　　〕）	・**ターミナル駅**，**官公庁**や企業の**オフィス**，**金融機関**が集まる。 ・地価は高く，土地利用は**集約的**となる。 ・〔　　　　　　〕も盛ん。
② **卸売・軽工業地区**	・古くからの**市街地**で，〔　　　　　　〕・**卸売業**・**中小工場**などが立地。 ・再開発は限定的で，一部では人口流出による**高齢化**も見られる。 ・交通の結節点に，〔　　　　　　〕が形成されることも。
③ **漸移地区**	・都心部の**外縁部**。住宅地へと移り変わる一帯。
●〔　　　　〕：昼間人口＜夜間人口となる地域	
④ **一般住宅地**	・古い時代からの**住宅地**であり，かつては都市圏の外縁部。
⑤ **高級住宅地**	・都心部の過密を避けて**高所得層**が転居。一戸建ての大きな家が多い。
⑥ **新興住宅地**	・都市圏の拡大により新たに住宅地となった一帯。 ・**人口増加率が高く**，〔　　　　　　　　　　〕も見られる。

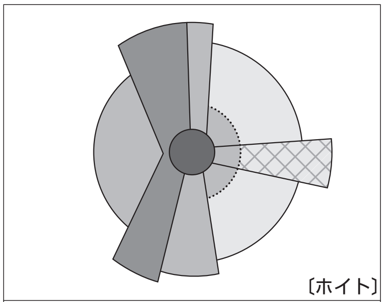
2 扇形モデル・多核心モデル

・**自然条件**や**社会条件**によって都市圏の形は変化し，その内部構造も異なる。

1. 扇形モデル

・**中心業務地区**（**CBD**）を核とし，〔　　　　〕や**道路**に沿って，卸売・軽工業地区が周辺部に向かい延びる。海岸線など**地形の制約**を受けることもある。

・〔　　　　　　〕では，中心業務地区から発する高速道路や運河に沿って**工業地区**が延びる。また，湖岸線に沿って**高級住宅地**が広がっている。

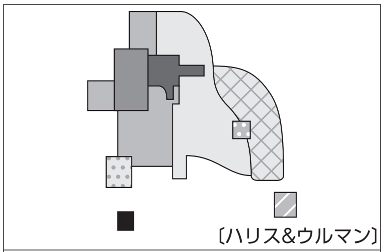


2. 多核心モデル

・〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の進行によって，CBD 以外に複数の**核**となる地域が発達した都市の構造。

・核となる地域の周辺に，関連する機能を持つ地区が集積。

・**アメリカ合衆国**ではハイウェーのインターチェンジ付近に新たな業務地区がつくられるなど，複数の核を持つ都市に成長する例が多く見られる。



3 特殊な都市構造を有する都市：パリ

・フランスの首都〔　　　　〕では，中心部は**歴史的建造物**が保持されており，市街地の西側**ラ・デファンス地区**に高層ビルが並ぶ〔　　　　　〕が形成されている。

ラ・デファンス地区

まとめ

最も外側に位置する新興住宅地。近年では，再開発により中心業務地区でも人口増加率が高くなることも多い。

鉄道や道路，地形などの影響を受ける。

Chapter 2　都市圏の発展

目標
都市圏とは何か，理解しよう。
都市システムの中で，大規模な都市が果たす役割を理解しよう。

1　都市圏の発展

1. 都市圏とは

・〔　　　　　　〕：ある**都市**の**影響力**がおよぶ範囲。**通勤圏**や**商圏**など。

→都市圏は，**都心部**と**郊外**とに分けられる。

・**都心部**：昼間人口＞夜間人口

・**郊外**　：昼間人口＜夜間人口

→**都市**は，その内部の住民だけでなく周辺に住む人々にもサービスや物資を供給し，また，通勤や通学によって周辺から内部に人を取り込む（〔　　　　　　〕）。

→**中心地機能**が強まると，一つの都市が影響を与える範囲が広くなる。

2. 都市圏の発展

・**メトロポリタンエリア**：**大都市圏**。日本では，**東京**，**名古屋**，**京阪神**が大都市圏。

・〔　　　　　　〕：**大都市圏**の中心地となる都市。**巨大都市**。

・〔　　　　　　〕：連続する複数の大都市圏が**鉄道**や**道路**でつながれ，密な関係性を持つ一帯。**巨帯都市**。

→日本では，東京・名古屋・京阪神の三大都市圏が結ばれ，**東海道メガロポリス**を形成。

→元はアメリカ合衆国北東部の大西洋沿岸（ボストン～ワシントン D.C.）の一帯を指す言葉。

・〔　　　　　　〕：複数の都市圏が重なり合って，**ひとつながりの都市域**を形成している一帯。**連接都市**。

→ヨーロッパではドイツ西部のライン川沿いのルール地方，アメリカ合衆国では五大湖沿岸など。

日本の大都市圏

2 都市システム

・〔　　　　　　　　　　〕：階層構造を持つ，都市間の**相互関係**のこと。

→20 世紀後半以降，行政・企業活動の拡大や技術の進歩によって，それぞれの都市が結びつき，強い関係性を持つようになった。その関係性の中で，**規模**によって都市が果たす役割が形づくられた。

→大規模な都市：**中枢管理機能**が集まり，より広範囲に影響をおよぼす。専門的な商品や〔　　　　　　〕を扱う店舗の種類が多く，商圏は**広い**。大規模な都市同士は離れて存在する。

→小規模な都市：影響範囲は狭くなり，数が多く，近距離に立地する。〔　　　　　〕を扱う店舗が主となる。

→中規模の都市：大規模な都市と小規模な都市の，中間的な性質を有する。

まとめ

ある都市の影響がおよぶ範囲。通勤圏や商圏など。

中枢管理機能を担い，広範囲に影響を与える。広い商圏を持つ店舗が立地。

第12講 PART3 確認問題

1 都市圏の内部構造（同心円モデル）について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 中心業務地区には官公庁や企業のオフィス，金融機関が集まる。
② 卸売・軽工業地区は古くからの市街地で，商店街・卸売業・中小工場が立地する。
③ 一般住宅地では副都心が形成されることもある。
④ 新興住宅地は人口増加率が高く，ニュータウンも見られる。

2 再開発が最も盛んである地区はどれか。

① 一般住宅地　② 卸売・軽工業地区
③ 都市圏の外縁部　④ 中心業務地区

3 扇形モデルの内部構造を持つ都市はどこか。

① シカゴ　② 東京
③ パリ　④ ロンドン

4 高層ビルが並ぶ副都心であるラ・デファンス地区を有する都市はどこか。

① パリ　② ベルリン
③ ミラノ　④ ロンドン

5 都市圏について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① ある都市の影響力がおよぶ範囲を，都市圏という。
② 通勤や通学によって周辺から内部に人を取り込む。
③ 都市周辺に住む人々にもサービスや物資を供給する。
④ 都心部では，郊外と比較して夜間人口の方が昼間人口より多い。

6 複数の大都市圏が鉄道や道路でつながれ，密な関係性を持ち帯状に広がる一帯の名称はどれか。

① グローバルシティ　② メガロポリス
③ メトロポリス　④ メトロポリタンエリア

7 流域に多くのコナーベーションが見られる河川はどれか。

① ポー川　② オーデル川
③ ドナウ川　④ ライン川

8 都市システムについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 階層構造を持つ都市間の相互関係のことをいう。
② 都市は規模によって果たす役割が異なっている。
③ 大規模な都市同士は近接して存在する。
④ 小規模な都市では影響範囲は狭くなる。

第 12 講　PART 3　確認問題　解答

1 解答：③　**副都心**は**都心からやや離れたターミナルの周辺**に生じる，都心の中枢管理機能の一部を分担する地区のこと。都心と郊外を結ぶ交通の結節点につくられる。

2 解答：④　**中心業務地区**は再開発が盛んで，高層ビルなどの建設が見られる。

3 解答：①　**扇形モデル**は中心業務地区を核とし，特定の機能を持った地域が鉄道や道路に沿って延びる都市構造。**シカゴ**がその代表例である。

4 解答：①　**パリ**では都心部には歴史的建造物が保持され，**ラ・デファンス地区**が副都心として機能する。

5 解答：④　企業のオフィスなどが集中する**都心部**では，**昼間人口の方が夜間人口より多くなる**。

6 解答：②　複数の大都市圏が鉄道や道路でつながれ，密な関係性を持ち，帯状に広がる一帯を**メガロポリス**という。もとはアメリカ合衆国のボストンからワシントン D.C. までの一帯を指す。

7 解答：④　**ライン川**はヨーロッパの大動脈であり，**ライン川**が流れるルール地方などで**コナーベーション**が見られる。

8 解答：③　多くの中枢管理機能が集まる**大規模な都市同士は，離れて存在する**。